

J R 四国労組ニュース

令和2年4月1日（No.21）

発行責任者／大谷 清

編集責任者／武智 義治

2020年度 「四国再発見増収キャンペーン」 「利用促進キャンペーン」

この難局を乗り越えるべく
全組合員が総力を挙げて取り組もう！

2019年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による旅行や出張の出控え等により、JR四国では事業計画と比べ10億円規模の大幅な減収となり、過去最低の鉄道運輸収入が見込まれるなど、会社発足以来、これまでに経験したことのない事態により大変厳しい状況となりました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期をはじめとする経済の動向、さらには人口減少による利用者の減少や消費税増税の影響などにより先行きは極めて不透明であり、非常に厳しい経営環境となることが想定されます。

このような中、JR四国は「『安全の確保』が事業運営の根幹であり、最重要課題であるとの認識のもと、お客様に『安心して』『喜んで』『末永く』ご利用いただくこと、及び『鉄道の活性化』を掲げ各種施策を推進する」とし、ジェイアール四国バスは「『安全・安心輸送の確立』に向けプロ意識に徹し、地域社会から信頼される企業を目指して取り組む」としています。

JR四国労組は、JR四国及びジェイアール四国バスの責任組合として「安全・安定・安心輸送の確立」を最優先に、事業計画及び各種営業施策を共有するとともに、この難局を乗り越えるべく、「四国再発見増収キャンペーン」「利用促進キャンペーン」の取り組みがグループ全体にわたる雇用の確保及び労働条件の維持・改善を図るため重要な取り組みであると位置づけ、各級機関において地域共闘を軸とした情報発信と需要喚起に努めるとともに、目標額の達成に向け、全組合員が一丸となって積極的に取り組むことを要請します。

2020年4月1日

四国旅客鉄道労働組合